Panasonic®

Switch-M24DCPWR

DC −48 V / DC 48 V 品番 **PN23249D**

施工説明書

施工店様へのお願い

●施工の前に必ずこの施工説明書をお読みください。
●LAN配線または設定される場合は、別紙の「Switch-M24DCPWR取扱説明書」も併せてお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

禁止

●電源ケーブルの接続および配線、装置の設置および交換は、教育を受けた資格を有する技術者以外は行わない
●入力電圧範囲 DC −53 〜−43 V(DC 43 〜 53 V)以外では使用しない
取り扱いを誤ると、火災、感電、故障、誤動作の原因になります。
●適用ケーブル以外は絶対に使用しない
誤って使用すると、発熱して焼損や火災の原因になります。
●はんだ付けした心線は使用しない
火災、感電の原因になります。
●電源設備ブレーカをONにしたまま、電源用端子台(付属品)の取り付け、取り外しをしない
火災、感電、故障、誤動作の原因になります。
必ず電源設備ブレーカを OFF にしてから作業を行ってください。
●水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しない
●この装置を分解、改造しない
●開口部やツイストペアポート、コンソールポート、SFP拡張スロットから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
火災、感電、故障の原因になります。
●直射日光の当たるところや温度の高いところに設置しない
内部の温度が上がり、火災の原因になります。
●ぬれた手で電源用端子台(付属品)を抜き差ししない
●雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない
感電、故障の原因になります。

必ず守る

●電源用端子台(付属品)を必ず使用する
●ケーブル被覆は7 mm以上むかない
●心線が露出しないように接続する
火災、感電、故障、誤動作の原因になります。
●電源用端子台(付属品)に絶縁テープ (付属品) を必ず貼付する
絶縁テープ(付属品)を貼付せずに使用すると、感電の原因になります。
●必ず接地用ケーブルを接続する
感電、誤動作、故障の原因になります。
●必ず接地用ケーブルを接続したあとに電源ケーブルを接続する
●誤接続していないか確認する
接続を誤ると短絡や過電流で使用不可能になります。
また、火災、感電、故障、誤動作の原因になります。

施工の前に

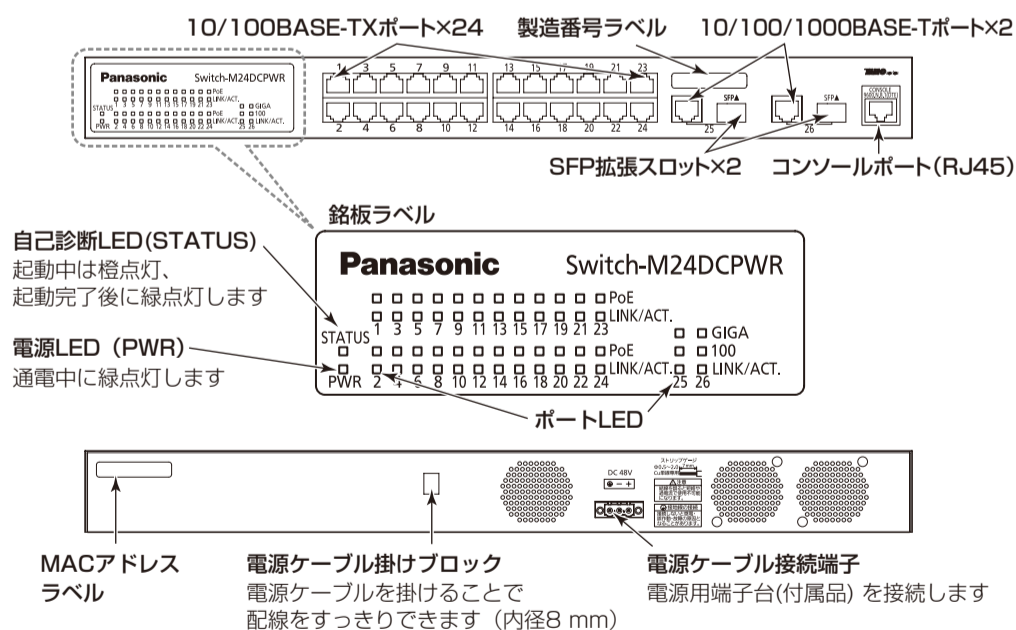
1.電源ケーブルとLANケーブルを並行配線する場合には、お互いを10 cm以上離して配線してください。
2.接続を誤ると短絡や過電流で使用不可能になります。
3.接地用ケーブルを接続しないと、感電、誤動作、故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき

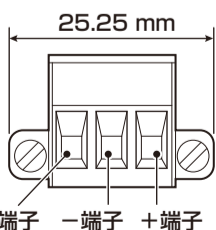
MACアドレスラベル

電源ケーブル掛けブロック
電源ケーブルを掛けることで配線をすっきりできます (内径8 mm)

電源ケーブル接続端子
電源用端子台(付属品) を接続します

電源用端子台(付属品)
右図は電源ケーブル取り付け面

※絶縁テープ (3枚) が付属します。

定格・仕様

定格電圧	−48 V DC(48 V DC)
定格電流	6 A
消費電力	定常時最大 224 W (非給電時 24 W)、最小 17 W
使用周囲温度	0 ℃〜 40 ℃

接続方法 ご注意

1. 適用ケーブル以外は絶対に使用しないでください。
2. 電源用端子台(付属品)を必ず使用してください。
3. ケーブル被覆は7 mm以上むかないでください。また、心線が露出しないように接続してください。
4. 曲がった心線はまっすぐに伸ばしてから接続してください。
5. 心線の近くを持ってまっすぐに接続してください。
6. 接地用ケーブルを必ず接続してください。
7. 接地用ケーブルは本製品を設置する場所の接地条件に従って配線してください。
8. 接続したケーブルを引っ張ったり、ねじったりすると心線を傷つけます。
9. ねじは締めすぎないでください。ケーブルが切れたり、ねじ部分が故障する原因になります。

■ 適用ケーブル(別途ご用意ください)

電源・接地用 Cu単線専用 : φ0.5 〜 2.0 mm
(※)φ2.0 mm以上のケーブルを使用する場合は、中継端子台を別途ご用意ください。

① **ワイヤストリッパを使用して、ケーブル被覆をむく(図1を参照してください)**
ケーブル被覆は 7 mm 以上むかないでください。
また、心線が露出しないように接続してください。

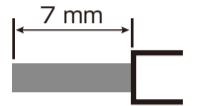
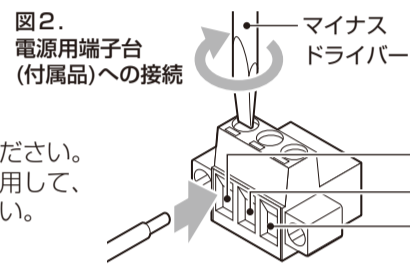



図1. ケーブルの被覆をむく

② **接地用ケーブルを接続する(図2を参照してください)**
表1に従って接続してください。
マイナスドライバーを使用して、ねじを締め付けてください。
ねじのトルクは0.5〜0.6 N.m です。

図2. 電源用端子台(付属品)への接続

⚠警告
●誤接続注意
❶接地用端子
❷−端子
❸+端子

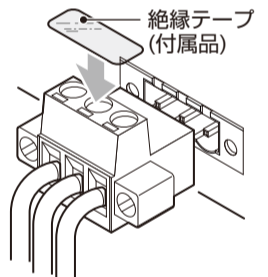
③ **電源ケーブルを接続する(図2を参照してください)**
表1に従って接続してください。マイナスドライバーを使用して、ねじを締め付けてください。ねじのトルクは 0.5〜0.6 N·m です。

表1. DC −48 V / DC 48 Vの接続方法

	❶	❷	❸
DC −48 Vで使用される場合 (入力電圧範囲DC −53〜−43 V)	接 地	−48 V DC	0 V DC
DC 48 Vで使用される場合 (入力電圧範囲DC 43〜53 V)	接 地	0 V DC	48 V DC

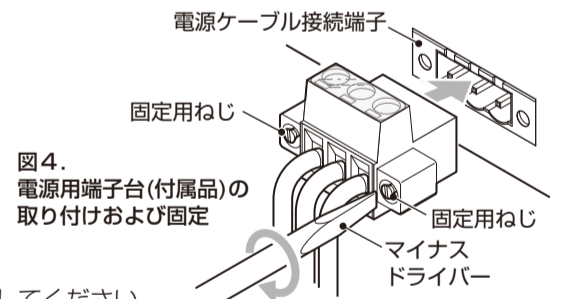
④ **電源設備ブレーカをONにして、電源ケーブルが正しく接続されているか出力電圧を確認してください。確認後は電源設備ブレーカをOFFにしてください。**

⑤ **電源用端子台(付属品)に絶縁テープ(付属品) を必ず貼付する**
絶縁テープ(付属品)を貼付せずに使用すると、感電の原因になります。

図3. 絶縁テープ(付属品)の貼付

本製品への取り付け

① **電源用端子台(付属品)を本製品に取り付ける**
本製品の電源ケーブル接続端子に取り付けてください。

② **電源用端子台(付属品)を本製品に固定する**
マイナスドライバーを使用して、固定用ねじを締め付け、本製品に固定してください。

図4. 電源用端子台(付属品)の取り付けおよび固定

本製品の起動 ご注意

1. **電源設備ブレーカをONにする前に、以下の項目を再度確認してください。**
- 誤接続していないですか?
- 心線が露出していないですか?
- 絶縁テープ(付属品)を貼付していますか?
- 電源用端子台(付属品)を固定しましたか?
- 電源出力は入力電圧範囲内に設定されていますか?

2. **以下を確認した場合、すぐに電源設備ブレーカをOFFにしてください。電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になります。**
- 電源LEDが点灯しない
- 本製品から煙が出ている
- 本製品から異臭がする
- 本製品内部に異物や水が入った

通電後、本製品の電源LED、自己診断LEDが緑点灯することを、ご確認ください
(注意)起動中は自己診断LEDが橙点灯し、起動が完了すると緑点灯になります

パナソニックESネットワークス株式会社
〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目12番7号

■商品をご購入後の技術的なお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。
IP 電話(050 番号)からはご利用いただけません。お近くの弊社各営業部にお問い合わせください。
フリーダイヤル 0120-312-712 受付 9 : 30 〜 12 : 00 / 13 : 00 〜 17 : 00 (土・日・祝日、および弊社休日を除く)
お問い合わせの前に、弊社ホームページにて、サポート内容をご確認ください。
URL:http://panasonic.co.jp/es/pesnw/
なお、ご購入前のお問い合わせは、弊社各営業部にお願いします。